

尼崎市教育委員会 10月臨時会 会議録

1 開会及び閉会の日時

平成26年10月14日 午後4時10分～午後6時08分

2 出席委員及び欠席委員

出席委員 委員長	濱田英世
職務代行者	磯田雅司
委員	仲島正教
教育長	徳田耕造
欠席委員 委員	岡本元興

3 出席した事務局職員

教育次長	中川一
管理部長	富永謙一
学校計画担当部長	舟本康弘
施設担当部長	下村芳範
学校教育部長	西川嘉彦
企画管理課長	牧直宏
職員課長	井上潤一
幼稚園教育振興担当	中道直生
学務課長	高木健司
高校教育担当課長	門積直樹
子ども・子育て支援 制度準備担当係長	大前仁哉

日程第1 議 事

(1) 議案第42号 職員の人事について

日程第2 協議・報告事項

- (1) 尼崎市の就学前の教育・保育のあり方について（報告書）の最終答申について
- (2) 尼崎市子ども・子育て支援事業計画の中間答申について
- (3) 平成27年度高等学校進学希望者数等調査の結果について

午後4時06分、委員長は開会を宣した。

委員長 日程第1「議事」の、「議案第42号職員の人事について」は、会議規則第6条の2第1項第1号、すなわち「教育委員会に属する職員の任免その他の身分取扱に関する事件」に該当するため、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 異議なしと認めます。よって、「議案第42号」については、公開しないことと決しました。なお、公開しないことと決しました、「議案第42号」は、日程第2の「協議・報告事項」の後に審議することといたします。

委員長 それでは、これより日程に入ります。日程第2「協議・報告事項」に移ります。「尼崎市の就学前の子どもの教育・保育のあり方について（報告書）の最終答申について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。幼稚園教育振興担当課長。

幼稚園教育振興担当課長 （報告内容説明）

委員長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

委員 最近の気になるものの1つである、ゲーム、スマートフォンやタブレットについてももう少し検証し、加えるべきではないか。また、今回説明してもらった、就学前の子どもの教育・保育のあり方についての報告書は、ある種の幼児教育書のようなものなので、正しいことが記載されているが、これをどのように発信していくかを考えなくてはいけない。少しずつしてしまうかもしれないが、例えば今後、公私立幼稚園の保育料を同額にする方向性が出ており、公立幼稚園の優位性のようなものが失われるのではという懸念があったと思う。今回の報告内容にある調査では、小学生の保護者への「就学までに重視すべきこと」というニーズ調査では、「読み・書き・計算を重視する」という回答が一番多いという結果が出ているが、その一方で、どのような人に成長して欲しいかという問いには、「思いやりのある豊かな心をもった人」という回答が最も高くなっており、大人へ成長するという長い過程を見据えれば、「読み・書き・計算」よりも、人間性や社会

性を保護者が求めていることが分る、という説明がされているし、実際そういう結果になってはいる。保護者の回答にも、「思いやりのある豊かな心をもった人」に成長するために必要な取り組みは「いろいろな体験をすること」、「たくさんの友達とふれあうこと」、「生活習慣を身につけること」等の回答が半数以上あったとの結果が今回の報告にも出ている。「読み・書き・計算」も大事だが、それより就学前にしなければならない大事なことがある、ということを経験する必要があるのではないか。

幼稚園教育振興担当課長 ゲーム、スマートフォンやタブレットについてだが、就学前の子どもが、スマートフォン、タブレットを利用することよりは、保護者に向けたことで、テレビを長時間見せるような育児をすることや、保護者がスマートフォンやタブレットをしながら育児をすることが問題であるという意見はたくさん出ていた。

今回の報告書には様々な意見をまとめているので、「読み・書き・計算」よりも、遊びを通じた様々な体験などが以降の人格形成に大切であるということを中心に議論してもらった。審議会から出された答申書なので今後市の素案に置き換える作業をするので、「読み・書き・計算」よりも様々な経験の重要性、ゲーム、スマートフォンやタブレットなどの弊害などを含めて最終的な市の素案としていきたい。

委員 スマートフォンなどとの付き合い方について教えてあげて欲しい。生活実態調査を見ても、はっきり結果として出ているわけだから、就学前には、「読み・書き・計算」も必要だが、人間形成に必要なことは他にもあるという事を、データに基づいて、踏み込んで説明していけばいいと思う。

委員 答申書としては、今回で全く問題はないし、むしろいい報告ではあるが、保護者に知ってほしい、読んでほしい内容かは疑問である。スマートフォンの扱い方や、遊び方についても具体例を織り交ぜて説明しないと分りにくいかも知れない。

幼稚園教育振興担当課長 今回の答申書を配布して、保護者の皆様が読んでくれるかと言えば、厳

しいという意見は審議会でも出ていた。そこで、ここに記載されている具体的な事象などをまとめ、保護者にとって分かりやすいリーフレットを作成しようと審議会でも予定している。

委員 小学校の教員にもよく聞く話なのだが、就学前に「読み・書き・計算」についてある程度習得している子どもは、入学当初は、確かに差があるそうだが、1年を終えてみると、どの子が就学前に習得していたか、どの子がしていなかったか、分らなくなっているとのことである。私見では、6年生にもなると、絶対に分らなくなっていると思う。

近所の子どもが「読み・書き」ができる、という状況にもしあれば、保護者の立場から見れば不安になることは仕方がない。しかし、それは過剰反応しなくても良いという事をしっかりと伝えてあげてほしい。それよりも、特に就学前は体を動かし、運動遊びをすることによって様々な経験をすることが大切だということを伝えてほしい。

委員 少し話はわかるが、今回の答申にあった図についてなのだが、分りにくいので、もう少し分かりやすい図で説明してほしい。家庭、地域、幼稚園、保育所等、学校がどう関わっていくかを表現した図だが、どう関わっているかが分かるようにお願いしたい。

幼稚園教育振興担当課長 図についても、ご指摘いただいた他の件と含めて、市の素案に置き換える際に工夫したい。

委員長 他に質疑はございませんか。質疑がないようですので、本件についての報告は終わります。

委員長 続いて、「尼崎市子ども・子育て支援事業計画の中間答申について」を議題とします。幼稚園教育振興担当課長。

幼稚園教育振興担当課長 (報告内容説明)

委員 一時預かり事業は公立幼稚園も実施するのか。

幼稚園教育振興担当課長 公立幼稚園においても実施に向けて検討をしているところである。今後、

予算や政策的な面で調整は必要ではあるが、教育委員会の方向性としては実施を前提に進めている。

委員 保育を必要とする子どもの、受け入れの確保方策は何か考えているのか。
幼稚園教育振興担当課長 今年度、事業者向けに意向調査など実施しているところである。その結果を参考にしながらそれぞれの地区で、小規模保育事業などの新たな事業の実施や、幼稚園から認定子ども園への移行などで対応していくことを考えている。

なお、国から平成29年度が待機児童のピークであり、各市町村には平成29年度までに解消できる計画内容にしてほしいと言われており、報告させていただいた今回の計画も、平成29年度解消に向けた計画内容としている。

委員 確保方策における人数の見込みはどこから参考にした数字なのか。
幼稚園教育振興担当課長 現在の幼稚園、保育所、認定子ども園に行った調査や、新たに小規模保育事業などへの参入を考えている事業者や個人の意向を参考にしている。

委員長 他に質疑はございませんか。質疑がないようですので、本件についての報告は終わります

委員長 続いて、「平成27年度高等学校進学希望者数等調査の結果について」を議題とします。高校教育担当課長。

高校教育担当課長 (報告内容説明)

委員長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

委員 この報告は尼崎市の高校は人気が出るかもしれないということを意味しているのか。

高校教育担当課長 今回の学区編成で尼崎市が第2学区になり、生徒は市をまたいで高校を選択できるようになる。このような市を超えた生徒の流動を考えて、学校の募集定員を考えなくてはならない。現状、尼崎においては学区編成

の影響で学級増になるのではないかと想定している。

委員 宝塚市は減っているように思うが、これは宝塚市の子どもたちが、西宮市や尼崎市の高校へ進学を希望しているということか。

高校教育担当課長 交通の利便性や学校の魅力など様々な要因はあろうが、宝塚市の高校は山の上であり、交通の便が決してよくないことも影響していると思う。

県教育委員会も、生徒の流動を見ながら募集定員を考えていくと説明している。

委員 市の教育委員会は宝塚市の生徒が尼崎市や伊丹市を希望していることを把握しているのか。

高校教育担当課長 市ごとの資料は各市とも持っていない。もちろん県教育委員会は持っている。

委員 各市の生徒が、どの市の高校を受けるかは全く分らないということか。

高校教育担当課長 他市の状況は分らないが、今まで尼崎市からは受験できなかった高校を希望している生徒が何名かいるということは把握している。

委員 第2回目の調査という事を考えればまだ一喜一憂する時期でもないかと思う。後何回調査があるのか。

高校教育担当課長 11月にもう一度調査がある。

委員 11月は希望調査で出願とは別ということか。志願変更はできるのか。

高校教育担当課長 第2希望の志願変更は3日間ある。

委員 双星高校のクラス数も県が決めるのか。

高校教育担当課長 市教委に調査があり、県で発表する形になっている。ただ、双星高校は9学級あり、市内最大であることを考えれば、学級数を増やすことはできない。

委員長 他に質疑はございませんか。質疑がないようですので、本件についての報告は終わります。

委員長 次に、日程第1「議事」に移ります。ここからは非公開といたします。
議案関係者以外の方はご退席願います。

(関係者以外退席)

~~~~~以下 議事の大意は非公開とする~~~~~

————— 議事の大意は別紙のとおり —————

委員長 以上を以って、本日の日程は全部終了いたしました。  
これをもちまして、尼崎市教育委員会10月臨時会を閉会いたします。

(閉会 午後6時08分)

尼崎市教育委員会10月臨時会において、以上のとおり議事が行われたことを記録します。